

令和元年10月8日

# 開進三中だより

< 第6号 >

—◆たくましい人◆考える人◆心豊かな人◆助け合う人— 練馬区立開進第三中学校

## 「スポーツが伝える多様性」

校長 岩尾 幸市

ラグビーワールドカップに日本中が沸いています。私は学生時代に様々なスポーツを体験してきましたがラグビーの経験はありません。ラグビーを知ったのは子どもの頃に見た「青春ドラマ」です。熱血教師と個性豊かな生徒たちがラグビーを通して人として成長していく学園青春ドラマでした。当時はドラマ見ながら一緒に熱くなったのを思い出します。

5日のサモア戦に日本が勝利し開幕3連勝でグループリーグ首位に立ち、悲願のベスト8に王手をかけました。日本代表チームの強みは「日本らしさ」にあると思います。体格や力で劣る日本人の強みは規律を守り、粘り強さを生かし「低く、速く、激しく、走り勝つ」ことを追求し、低く速いタックル、パワークのうまさやスピード、スクラムを鍛え上げてきました。

もう一つの日本代表チームの強みは「多様性（ダイバーシティ）」です。チームの約半数は外国出身選手で構成されています。リーチマイケル主将は「日本代表でプレーするときは、いろいろなチャンスをくれた日本に恩返しするつもりで全力でプレーする」と話しています。国籍が違えど日本代表として大きな誇りを持って戦う外国出身選手たちの姿は、スポーツを含めたグローバル標準で重んじられている多様性の大切さを実感できます。

本当に良い（強い）チームは、ただ「強く優れた人材を集めて構成されたチームづくりの定石」ではなく、むしろ「多様な人が集まる中で、お互いのことを理解しようと努力している人の集まり」であると考えます。

これから生きる生徒の皆さんは、相手の気持ちを理解して思いやることやみんなが対等に発言することを大切にすることです。大事なことは、チームに誰がいるか以上にお互いにどう関わり合うかということです。チームメンバーがお互いに分かり合うために他者理解を深めていくことが必要です。

一人一人が持っている得意・不得意には違いがあります。自分と違う長所や考えを持っている仲間の存在はプラスに働きます。自分と違うタイプの人だからこそ、認め合い支え合える関係を築くことを大切にしたいものです。

## 学校公開・学校説明会・部活動体験

9月7日（土）に学校公開・学校説明会・部活動体験を行いました。

学校説明会の1部は体育館で、吹奏楽部の演奏に引き続き、生徒会役員による学校生活の紹介を行いました。2部は西多目的室で保護者向けに行いました。

部活動体験は体育館で全体への説明を行ったあと、各部の部員が小学生を誘導して、それぞれの活動場所で体験・見学を行いました。



沢山の保護者、小学生に本校へ来校していただき開進三三について知っていただける機会となりました。ご来校いただいた皆さんありがとうございました。

ご来校できなかった方で、見学や個別の説明をご希望される方は、本校副校長までお問い合わせください。

問い合わせ 03-3993-4265

## 連合陸上競技大会

9月20日（金）練馬総合運動場 陸上競技場において、第57回練馬区中学校生徒総合体育大会（陸上競技大会）が開催されました。学校代表として参加した生徒たちは全力で競技に臨んでいました。

《入賞者》

優勝	走高跳び	2年男子
第6位	走高跳び	2年女子
第8位	砲丸投げ	2年男子
	100mハードル	2年女子
	走幅跳び	1年女子



## 吹奏楽ナイトバザール

9月28日（土）に吹奏楽部は江古田ゆうロードナイトバザールにおいてパレードと演奏をしました。

1回目は環七側から江古田駅に向かって、2回目は、反対にパレードと立演奏を行い、沢山のの方から大きな拍手と声援をいただきました。

